

2006 年度

科目名 日本風俗文化史	対象学科・学年 文学部日文3 回生 教育教福3 回生 文学部英語3 回生 文学部教福3 回生 文学部文財3 回生 文学部コミ3 回生	担当者 乾 澄子
授業テーマ 王朝の風俗と文化		
授業の概要と目標 現在の私たちの風俗や文化には、さまざまな歴史的背景がある。なかでも自然観を中心とした、年中行事の多くは400年続いた平安時代の貴族たちによって育まれてきた。自然豊かな日本の風土において、四季折々の季節にふさわしい生活を送ることが、何より教養あるものとされてきた王朝人の知恵を学んで行きたい。そして現代まで受け継がれているもの、すでに消滅したもの、形を変えたものなど、現代との関わりを考えてみたい。		
評価方法 学生による発表、中間、学年末のレポートを中心に、提出物、出席状況、授業への参加意欲などを総合して評価		
テキスト プリントを配布	著者	出版社
参考書 適宜授業中に紹介	著者	出版社
授業スケジュール・内容 <内容> ○王朝時代の儀式、行事について、『源氏物語』『紫式部日記』『枕草子』『古今集』などの文学作品を通じて当時の人々の感じ方、考え方を学習（なお古典作品については口語訳付きのテキストを用いて解説する） <授業スケジュール> 前期 1. ガイダンス…前期は講義形式で進めていく 2. 王朝時代の基本的な社会的背景を説明（1） 日常生活 習慣 建築物 調度 衣裳 音楽 信仰など 3. 王朝時代の基本的な社会的背景を説明（2） 日常生活 習慣 建築物 調度 衣裳 音楽 信仰など 4. 人生儀礼と年中行事 5. 誕生（1） 6. 誕生（2） 7. 成人式（1） 元服 8. 成人式（2） 裳着 9. 結婚（1） 10. 結婚（2） 11. 賀 12. 葬送（1） 13. 葬送（2） 14. まとめ 15. 後期授業へのガイダンス 後期は年中行事をそれぞれ受講者に分担、発表してもらい、お互いに意見を交換しながら、それぞれの行事の歴史的な背景を学ぶとともに現代との関わりを考える。 後期 1. 年中行事について 2. ～14. 学生による発表 1月 正月の歳事 3月 ひな祭り 上巳の祓 4月 葵祭り 5月 端午の節句 6月 六月祓 7月 七夕 8月 観月 9月 重陽の節句 11月 新嘗祭 五節 豊明節会 12月 歳暮 など 15. まとめ ☆ 国際的な感覚が求められる時代、まず自分たちの国の文化を学ぶことが、他の国の文化、習慣、思考を理解することの第一歩です。いろいろな地方の行事、外国での様子など、お互いに意見交換できたらと思っています。		